評価規準（第１学年及び第２学年「E　球技　ア　ゴール型」）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 観点 | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| 単元の評価規準 | ○知識・球技には，集団対集団，個人対個人で攻防を展開し，勝敗を競う楽しさや喜びを味わえる特性があることについて，言ったり書き出したりしている。・学校で行う球技は近代になって開発され，今日では，オリンピック・パラリンピック競技大会においても主要な競技として行われていることについて，言ったり書き出したりしている。・球技の各型の各種目において用いられる技術には名称があり，それらを身に付けるためのポイントがあることについて，学習した具体例を挙げている。・対戦相手との競争において，技能の程度に応じた作戦や戦術を選ぶことが有効であることについて，学習した具体例を挙げている。・球技は，それぞれの型や運動種目によって主として高まる体力要素が異なることについて，学習した具体例を挙げている。 | 〇技能・ゴール方向に守備者がいない位置でシュートをすることができる。・マークされていない味方にパスを出すことができる。・得点しやすい空間にいる味方にパスを出すことができる。・パスやドリブルなどでボールをキープすることができる。・ボールとゴールが同時に見える場所に立つことができる。・パスを受けるために，ゴール前の空いている場所に動くことができる。・ボールを持っている相手をマークすることができる。 | ・提示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に，仲間の課題や出来映えを伝えている。・提供された練習方法から，自己やチームの課題に応じた練習方法を選んでいる。・学習した安全上の留意点を，他の学習場面に当てはめ，仲間に伝えている。・練習やゲームの場面で，最善を尽くす，フェアなプレイなどのよい取組を見付け，理由を添えて他者に伝えている。・仲間と協力する場面で，分担した役割に応じた活動の仕方を見付けている。・仲間と話し合う場面で，提示された参加の仕方に当てはめ，チームへの関わり方を見付けている。・体力や技能の程度，性別等の違いを踏まえて，仲間とともに楽しむための練習やゲームを行う方法を見付け，仲間に伝えている。 | ・球技の学習に積極的に取り組もうとしている。・マナーを守ったり相手の健闘を認めたりして，フェアなプレイを守ろうとしている。・作戦などについての話合いに参加しようとしている。・一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを認めようとしている。・練習の補助をしたり仲間に助言したりして，仲間の学習を援助しようとしている。・健康・安全に留意している。 |

評価規準（第３学年「E球技　ア　ゴール型」）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 観点 | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| 　　　単元の評価規準 | ○知識・球技の各型の各種目において用いられる技術や戦術，作戦には名称があり，それらを身に付けるためのポイントがあることについて，学習した具体例を挙げている。・戦術や作戦に応じて，技能をゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントであることについて，学習した具体例を挙げている。・ゲームに必要な技術と関連させた補助運動や部分練習を繰り返したり，継続して行ったりすることで，結果として体力を高めることができることについて，言ったり書き出したりしている。・練習やゲーム中の技能を観察したり分析したりするには，自己観察や他者観察などの方法があることについて，言ったり書き出したりしている。 | ○技能・ゴールの枠内にシュートをコントロールすることができる。・味方が操作しやすいパスを送ることができる。・守備者とボールの間に自分の体を入れてボールをキープすることができる。・ゴール前に広い空間を作りだすために，守備者を引きつけてゴールから離れることができる。・パスを出した後に次のパスを受ける動きをすることができる。・ボール保持者が進行できる空間を作りだすために，進行方向から離れることができる。・ゴールとボール保持者を結んだ直線上で守ることができる。・ゴール前の空いている場所をカバーすることができる。 | ・選択した運動について，合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して，成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。・自己や仲間の技術的な課題やチームの作戦・戦術についての課題や課題解決に有効な練習方法の選択について，自己の考えを伝えている。・選択した運動に必要な準備運動や自己が取り組む補助運動を選んでいる。・健康や安全を確保するために，体調や環境に応じた適切な練習方法等について振り返っている。・ルールを守り競争したり勝敗を受け入れたりする場面で，よりよいマナーや行為について，自己の活動を振り返っている。・チームで分担した役割に関する成果や改善すべきポイントについて，自己の活動を振り返っている。・作戦などの話合いの場面で，合意形成するための関わり方を見付け，仲間に伝えている。・体力や技能の程度，性別等の違いに配慮して，仲間とともに球技を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。・球技の学習成果を踏まえて，自己に適した「する，みる，支える，知る」などの運動を継続して楽しむための関わり方を見付けている。 | ・球技の学習に自主的に取り組もうとしている。・相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている。・作戦などについての話合いに貢献しようとしている。・一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを大切にしようとしている。・互いに練習相手になったり仲間に助言したりして，互いに助け合い教え合おうとしている。・健康・安全を確保している。 |

評価規準（第１学年及び第２学年「E球技　イ　ネット型」）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 観点 | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| 単元の評価規準 | ○知識・球技には，集団対集団，個人対個人で攻防を展開し，勝敗を競う楽しさや喜びを味わえる特性があることについて，言ったり書き出したりしている。・学校で行う球技は近代になって開発され，今日では，オリンピック・パラリンピック競技大会においても主要な競技として行われていることについて，言ったり書き出したりしている。・球技の各型の各種目において用いられる技術には名称があり，それらを身に付けるためのポイントがあることについて，学習した具体例を挙げている。・対戦相手との競争において，技能の程度に応じた作戦や戦術を選ぶことが有効であることについて，学習した具体例を挙げている。・球技は，それぞれの型や運動種目によって主として高まる体力要素が異なることについて，学習した具体例を挙げている。 | 〇技能・サービスでは，ボールやラケットの中心付近で捉えることができる。・ボールを返す方向にラケット面を向けて打つことができる。・味方が操作しやすい位置にボールをつなぐことができる。・相手側のコートの空いた場所にボールを返すことができる。・テイクバックをとって肩より高い位置からボールを打ち込むことができる。・相手の打球に備えた準備姿勢をとることができる。・プレイを開始するときは，各ポジションの定位置に戻ることができる。・ボールを打ったり受けたりした後， ボールや相手に正対することができる。 | ・提示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に，仲間の課題や出来映えを伝えている。・提供された練習方法から，自己やチームの課題に応じた練習方法を選んでいる。・学習した安全上の留意点を，他の学習場面に当てはめ，仲間に伝えている。・練習やゲームの場面で，最善を尽くす，フェアなプレイなどのよい取組を見付け，理由を添えて他者に伝えている。・仲間と協力する場面で，分担した役割に応じた活動の仕方を見付けている。・仲間と話し合う場面で，提示された参加の仕方に当てはめ，チームへの関わり方を見付けている。・体力や技能の程度，性別等の違いを踏まえて，仲間とともに楽しむための練習やゲームを行う方法を見付け，仲間に伝えている。 | ・球技の学習に積極的に取り組もうとしている。・マナーを守ったり相手の健闘を認めたりして，フェアなプレイを守ろうとしている。・作戦などについての話合いに参加しようとしている。・一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを認めようとしている。・練習の補助をしたり仲間に助言したりして，仲間の学習を援助しようとしている。・健康・安全に留意している。 |

評価規準（第３学年「E球技　イ　ネット型」）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 観点 | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| 単元の評価規準 | ○知識・球技の各型の各種目において用いられる技術や戦術，作戦には名称があり， それらを身に付けるためのポイントがあることについて，学習した具体例を挙げている。・戦術や作戦に応じて，技能をゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントであることについて，学習した具体例を挙げている。・ゲームに必要な技術と関連させた補助運動や部分練習を繰り返したり，継続して行ったりすることで，結果として体力を高めることができることについて，言ったり書き出したりしている。・練習やゲーム中の技能を観察したり分析したりするには， 自己観察や他者観察などの方法があることについて，言ったり書き出したりしている。 | ○技能・サービスでは， ボールをねらった場所に打つことができる。・ボールを相手側のコートの空いた場所やねらった場所に打ち返すことができる。・攻撃につなげるための次のプレイをしやすい高さと位置にボールを上げることができる。・ネット付近でボールの侵入を防いだり，打ち返したりすることができる。・腕やラケットを強く振って， ネットより高い位置から相手側のコートに打ち込むことができる。・ポジションの役割に応じて，拾ったりつないだり打ち返したりすることができる。・ラリーの中で，味方の動きに合わせてコート上の空いている場所をカバーすることができる。・連携プレイのための基本的なフォーメーションに応じた位置に動くことができる。 | ・選択した運動について，合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して，成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。・自己や仲間の技術的な課題やチームの作戦・戦術についての課題や課題解決に有効な練習方法の選択について， 自己の考えを伝えている。・選択した運動に必要な準備運動や自己が取り組む補助運動を選んでいる。・健康や安全を確保するために，体調や環境に応じた適切な練習方法等について振り返っている。・ルールを守り競争したり勝敗を受け入れたりする場面で， よりよいマナーや行為について，自己の活動を振り返っている。・チームで分担した役割に関する成果や改善すべきポイントについて，自己の活動を振り返っている。・作戦などの話合いの場面で，合意形成するための関わり方を見付け，仲間に伝えている。・体力や技能の程度，性別等の違いに配慮して，仲間とともに球技を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。・球技の学習成果を踏まえて，自己に適した「する，みる，支える，知る」などの運動を継続して楽しむための関わり方を見付けている。 | ・球技の学習に自主的に取り組もうとしている。・相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている。・作戦などについての話合いに貢献しようとしている。・一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを大切にしようとしている。・互いに練習相手になったり仲間に助言したりして，互いに助け合い教え合おうとしている。・健康・安全を確保している。 |

評価規準（第１学年及び第２学年「E球技　ウ　ベースボール型」）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 観点 | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| 単元の評価規準 | ○知識・球技には，集団対集団，個人対個人で攻防を展開し，勝敗を競う楽しさや喜びを味わえる特性があることについて，言ったり書き出したりしている。・学校で行う球技は近代になって開発され，今日では，オリンピック・パラリンピック競技大会においても主要な競技として行われていることについて，言ったり書き出したりしている。・球技の各型の各種目において用いられる技術には名称があり，それらを身に付けるためのポイントがあることについて，学習した具体例を挙げている。・対戦相手との競争において，技能の程度に応じた作戦や戦術を選ぶことが有効であることについて，学習した具体例を挙げている。・球技は，それぞれの型や運動種目によって主として高まる体力要素が異なることについて，学習した具体例を挙げている。 | 〇技能・投球の方向と平行に立ち，肩越しにバットを構えることができる。・地面と水平になるようにバットを振り抜くことができる。・スピードを落とさずに， タイミングを合わせて塁を駆け抜けることができる。・打球の状況によって塁を進んだり戻ったりすることができる。・ボールの正面に回り込んで，緩い打球を捕ることができる。・投げる腕を後方に引きながら投げ手と反対側の足を踏み出し，体重を移動させながら，大きな動作でねらった方向にボールを投げることができる。・守備位置から塁上へ移動して，味方からの送球を受けることができる。・決められた守備位置に繰り返し立ち，準備姿勢をとることができる。・各ポジションの役割に応じて，ベースカバーやバックアップの基本的な動きをすることができる。 | ・提示された動きのポ　　イントやつまずきの事例を参考に，仲間の課題や出来映えを伝えている。・提供された練習方法から，自己やチームの課題に応じた練習方法を選んでいる。・学習した安全上の留意点を，他の学習場面に当てはめ，仲間に伝えている。・練習やゲームの場面で，最善を尽くす，フェアなプレイなどのよい取組を見付け，理由を添えて他者に伝えている。・仲間と協力する場面で，分担した役割に応じた活動の仕方を見付けている。・仲間と話し合う場面で，提示された参加の仕方に当てはめ，チームへの関わり方を見付けている。・体力や技能の程度，性別等の違いを踏まえて，仲間とともに楽しむための練習やゲームを行う方法を見付け，仲間に伝えている。 | ・球技の学習に積極的に取り組もうとしている。・マナーを守ったり相手の健闘を認めたりして，フェアなプレイを守ろうとしている。・作戦などについての話合いに参加しようとしている。・一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを認めようとしている。・練習の補助をしたり仲間に助言したりして，仲間の学習を援助しようとしている。・健康・安全に留意している。 |

評価規準（第３学年「E球技　ウ　ベースボール型」）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 観点 | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| 　　単元の評価規準 | ○知識・球技の各型の各種目において用いられる技術や戦術，作戦には名称があり， それらを身に付けるためのポイントがあることについて，学習した具体例を挙げている。・戦術や作戦に応じて，技能をゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントであることについて，学習した具体例を挙げている。・ゲームに必要な技術と関連させた補助運動や部分練習を繰り返したり，継続して行ったりすることで，結果として体力を高めることができることについて，言ったり書き出したりしている。・練習やゲーム中の技能を観察したり分析したりするには， 自己観察や他者観察などの方法があることについて，言ったり書き出したりしている。 | ○技能・身体の軸を安定させてバットを振りぬくことができる。・タイミングを合わせてボールを捉えることができる。・ねらった方向にボールを打ち返すことができる。・スピードを落とさずに円を描くように塁間を走ることができる。・打球や守備の状況に応じた塁の回り方で，塁を進んだり戻ったりすることができる。・捕球場所へ最短距離で移動して，相手の打ったボールを捕ることができる。・ねらった方向へステップを踏みながら，一連の動きでボールを投げることができる。・仲間の送球に対して塁上でタイミングよくボールを受けたり，中継したりすることができる。・味方からの送球を受けるために，走者の進む先の塁に動くことができる。・打球や走者の位置に応じて，中継プレイに備える動きをすることができる。 | ・選択した運動について，合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して，成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。・自己や仲間の技術的な課題やチームの作戦・戦術についての課題や課題解決に有効な練習方法の選択について， 自己の考えを伝えている。・選択した運動に必要な準備運動や自己が取り組む補助運動を選んでいる。・健康や安全を確保するために，体調や環境に応じた適切な練習方法等について振り返っている。・ルールを守り競争したり勝敗を受け入れたりする場面で， よりよいマナーや行為について，自己の活動を振り返っている。・チームで分担した役割に関する成果や改善すべきポイントについて，自己の活動を振り返っている。・作戦などの話合いの場面で，合意形成するための関わり方を見付け，仲間に伝えている。・体力や技能の程度，性別等の違いに配慮して，仲間とともに球技を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。・球技の学習成果を踏まえて，自己に適した「する，みる，支える，知る」などの運動を継続して楽しむための関わり方を見付けている。 | ・球技の学習に自主的に取り組もうとしている。・相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている。・作戦などについての話合いに貢献しようとしている。・一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを大切にしようとしている。・互いに練習相手になったり仲間に助言したりして，互いに助け合い教え合おうとしている。・健康・安全を確保している。 |